

ウェアブルコンピュータ用Voice ATOK発売？

ジャストシステム社は、このほど、ウェアブルコンピュータ用のかな漢字変換システムとして、「Voice ATOK800」を開発、単体発売する意向であることを発表した。

この「Voice ATOK800」は、「Voice-太郎」等で好評だった音声入力を強化したものだ。当初は単体での発売はしないとの意向だったが、ハンズフリーなウェアブルコンピュータを見た、秋篠宮殿下と紀子さまが、ぜひともこれで国民のみなさんとチャットがしてみたいと、ジャストシステム社の浮川社長宛に電子メールを送られたことをきっかけに、今回の単体発売になった様子。

この電子メールの中で、秋篠宮殿下は、宮言葉の誤変換を少なくするように強く要望されたもようだ。

今回の「Voice ATOK800」の発売をきっかけに、ウェアブルコンピュータと携帯電話の組合せで、街を歩きながらチャットする若者が急増するのは必至と見られている。この夏から警察官全員にウェアブルコンピュータを標準配備予定だった警察当局は、「警官が職務中にチャットにはまっちゃったらどうしよう。」と頭を悩ませている。

ジャストシステム社では、ウェアブルコンピュータのカメラ画像から着衣を、GPSから現在位置を自動判別し、方言や、口語体、文語体を使い分ける「Voice ATOK800 Professional Version」を同時発売する予定。この追加モジュールを使えば、大阪で着物を着ているときには大阪弁の文語体で変換されるなどのまさに究極のかな漢字変換ができてしまうもよう。

皇族にも電子メールアドレス付与？

宮内庁は、秋篠宮殿下ご夫妻がジャストシステム社に電子メールを送られた事実はないと発表しているが、関係者の話から、お二人のメールアドレスが、a-ya@jp , kiko@jpであったことが判明しており、電子メールを送ったのが秋篠宮殿下ご夫妻であったことは、まず間違いないと見られている。

また、今まで知られていなかった、この皇族の非常にシンプルかつ、「わびさび」の精神に満ちあふれたメールアドレスに対し、関係者や諸外国からは、大きな驚きと驚嘆の声が上がっている。

ウェアブルコンピュータ用電源に扇子見直される

ウェアブルコンピュータの開発が進んでいるが、その中で一番問題となっているのが、その電源。通常使用では数時間程度しかもたず、補助用電源の開発も検討中だ。

アメリカでは、「ドラえもん」のタケコプターのように頭上に付けたプロペラ型ダイナモが一番有力であるが、日本では、格好が悪いと大不評で、代わりに扇子型発電機が発電効率がよく、かつ情緒豊かであることから、各社パソコンメーカー、サードパーティーで開発が進んでいる。この扇子型発電機が発売されれば、ウェアブルコンピュータを付け、扇子をパタパタさせる若者が増えそうだ。

.....  
この記事に対する希望、感想、応援、絶賛、驚愕、非難、中傷、怒号、罵倒、お捻りはtonioまで。  
なお、本文中の人名、社名、個別名称等、実在するものもありますが、記事内容の真偽のほどは一切検証しておりません。  
.....

.....  
Copyright(C)、tonio、1999 掲載記事の無断転載したら泣いちゃうから。  
.....